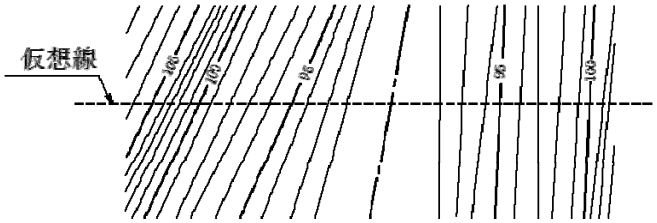
p_location

地形線のペーパーロケーションを行い、横断図を作図します。

操作手順

1）「測定位置の仮想線（補助線は使えません）」を描いておきます。



ポイント

連続線やグループ化された要素には反応しないので、連続線は分解・グループ解除してから、このコマンドを使用してください。

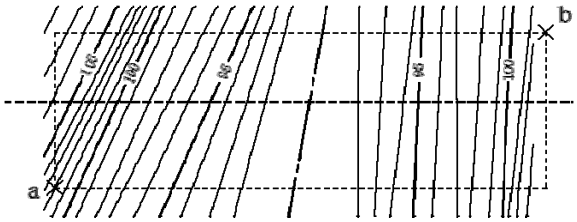
2）『p_location.exe』を開きます。

3）測定位置の仮想線を選択して下さい。

1）で描いた仮想線をマウスの左ボタンでクリックします。（　⇒　線の色が**黄色に変色**）

4）ペーパーロケーションを行う領域の１点目（点ａ）を指示して下さい。

点ａでマウスの左ボタンをクリックして下さい。



5）領域の対角点（点ｂ）を指示して下さい。

点ｂでマウスの左ボタンをクリックして下さい。

下のようなダイアログボックスが画面に表示されます。

ポイント

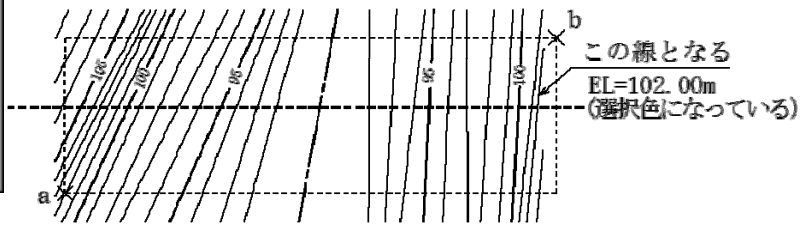
横断図は、**仮想線と交わる線**を認識して描くので、
仮想線と交差しない線を選択していても、無視します。

指定した領域の図形でよければ、完了 ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックします。領域を追加・除外する場合は、マウスの右ボタンを押して、追加・除外します。

選択した図形を取り消す場合は、取消 ボタンを押して、選択し直します。

6）「選択完了」したら・・・

右図のような対話ボックスが表示されますので、選択範囲内の**一番端の線**（仮想線と交差している線の中で）のＥＬ（標高(m)）を入力して、次へ をクリックします。



7）6）で入力した線の次の線のＥＬを入力して、次へ をクリックします。

選択した線をｾﾝﾀｰﾗｲﾝとするとき

次へ を押すと

ポイント

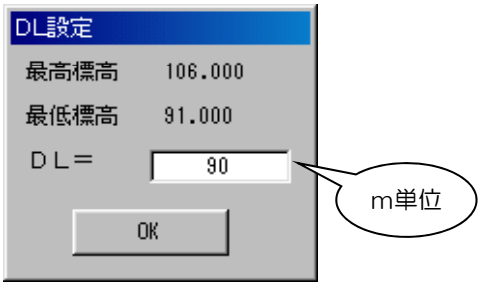
ＥＬのわからない線があった場合、そのＥＬの欄は**空白**にしてもいいです。（その線は無視されます。）

次のＥＬが推定されて表示されますので、もしそのＥＬでよければ、次へ をクリックして下さい。

選択した線の分、ＥＬを入力して下さい。

8）記入位置を指定して下さい。（ＤＬを基準位置として描きます。9）参照）

9）すべてのＥＬの入力が終了すると、下図のような対話ボックスが表示されますので、ＤＬの標高（m）を入力して、OK をクリックして下さい。



１０）できあがり！